



野村

萬齋

狂言の夕べ

2025 5/16 金 開場 17時45分 / 開演 18時30分
島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール

入場料

S 席 「前売」6,500円 「当日」7,000円
A 席 「前売」5,000円 「当日」5,500円
高校生以下 (S席・A席一律) 「前売」3,500円 「当日」4,000円

※未就学児入場不可 ※無料託児サービスあり。(5/9園までにグラントワまで要申込)
※車イス鑑賞エリア、赤外線補聴装置をご希望の方はグラントワへお問い合わせください。

〔演目〕三番叟 一野村 萬齋

古来特別な記念の催しなどで演じられてきた、日本芸能の真髄というに相応しい、格式とダイナミックな躍動感を合わせ持つ舞です。

六地藏 一石田 幸雄

演者が所狭しと舞台を駆け回る賑やかな作品です。本舞台と橋掛りを上手く使った、狂言ならではの表現をお楽しみ下さい。

〔チケット発売日〕 ◆オンラインチケット「シマチケ」先行販売 2月21日(金)10時〜28日(金)23時59分

◆一般発売 / 3月1日(日)「シマチケ・窓口」10時より 「電話予約」12時より ※発売初日のみ

〔プレイガイド〕 ◆島根県芸術文化センター「グラントワ」総合案内カウンター 電話0856-311-1871(営業時間9時〜18時/毎週火曜日休業)

◆オンラインチケット「シマチケ」購入はコチラから ↓

〔お問合せ〕 託児申込 ◆島根県芸術文化センター「グラントワ」 島根県益田市有明町5-15 電話0856-311-1860



グラントワ開館20周年記念

Grand Toit 20th

〔主催〕島根県・公益財団法人しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)・日本海テレビ 〔共催〕芸術文化とふれあう協議会

三番叟

さんばそう



大鼓 柿原 孝則

千歳 野村 太一郎

脇鼓 大倉 伶士郎

三番叟 野村 萬斎

小鼓 田邊 恭資

脇鼓 飯富 孔明

笛 栗林 祐輔

後見

内藤 連
月崎 晴夫

地謡

石田 淡朗
高野 和憲
岡 聡史
福田 成生

能楽の儀礼曲「翁」の中で、狂言師の勤める役が「三番叟」です。常の能とも狂言とも違う、古風な様式を多く留めた神聖な曲とされ、現在でも、正月の初会や舞台披き、特別な記念の催しなどで演じられます。

三番叟の舞は足拍子が多いため、能楽の儀礼曲「翁」の中で、狂言師の勤める役が「三番叟」です。まず、足拍子は大地を踏み固める所作に通じるため、天下泰平を祈る翁の舞に対し、三番叟は五穀豊穡を寿ぐ舞と考えられています。まさに日本芸能の真髄というに相応しい、格式とダイナミックな躍動感を合わせ持つ舞です。

休憩 二十分

六地藏

ろくじそう



徒者 石田 幸雄

田舎者 高野 和憲

徒者 月崎 晴夫

内藤 連

岡 聡史

後見 石田 淡朗

田舎者が地藏堂に六体の地藏を安置しようと都に仏師を探しに行く。すると徒者(いたずらもの)のすっぱ(詐欺師)が声をかけてきて、自分こそが真の仏師であると偽り、翌日までに六地藏をつくる約束をして田舎者と別れる。すっぱは仲間を呼び出し、地藏に化けて田舎者をだますことにする。

さて翌日、田舎者が地藏を受け取りにやってくる。地藏は三体系に見えたららない。もう三体系はどこかと問うと…。

演者が所狭しと舞台を駆け回る賑やかな作品です。すっぱは田舎者をだまし通せるのでしょうか。本舞台と橋掛りを上手く使った、狂言ならではの表現もお楽しみください。



野村 萬斎

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ごさる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に

出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、「敦・山月記・名人伝」「マクベス」「子午線の祀り」「能狂言「鬼滅の刃」」「ハムレット」はじめ古典の技法を駆使した作品の演出など、現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとりとして幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能大賞等、受賞多数。2024年には坪内逍遙大賞を受賞。石川県立音楽堂アーティストティック・クリエイティブ・ディレクター。(公社)全国公立文化施設協会会長。



石田 幸雄

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。「三番叟」「釣狐」「花子」等の大曲を既に披演し、国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞、11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「敦・山月記・名人伝」「国盗人」「野村萬斎演出」など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。23年より「狂言師「石田幸雄」のソロ活動」で一人舞台にも取り組む。普及公演での的確な解説にも定評がある。

駐車場のご案内

※駐車場には限りがありますので、予め近隣駐車場をご確認のうえご来場ください。



駐車場マップ